



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 Hm c o mm株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司
 (コード：265A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学
 (TEL. 03-6550-9830)

AI プラットフォーム企業への事業転換に向けた「Voice AI Agent Platform」戦略の策定について

当社は、本日開催の取締役会において、中長期的な企業価値の向上を目的として、「音声認識製品を提供する企業」から、「Voice AI Agent Platform (VAAP)」(以下、「VAAP」という)を中核とする AI プラットフォーム企業への事業転換を推進するため、VAAP 戦略を策定することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. VAAP 戦略策定の背景

近年、生成 AI 市場では、大規模言語モデル (LLM) の高性能化、推論コストの大幅な低下、オープンソースモデルの急速な普及により、AI 技術はかつてないスピードで進化しています。

一方で、AI モデルそのものは急速にコモディティ化が進みつつあり、企業の競争優位性は「どの AI モデルを保有するか」ではなく、「複数の AI モデルを安全かつ最適に組み合わせ、企業の業務へ迅速に実装・継続運用できるか」へと移行しています。

今後は、AI モデル単体ではなく、

- Agent
- Workflow
- Knowledge
- Enterprise Integration
- Security
- Analytics

などを統合した AI Agent Platform が企業競争力の源泉になるものと当社は考えています。

当社は、この市場構造の変化を重要な成長機会と捉え、創業以来培ってきた音声 AI 技術を基盤として、「Voice AI Agent Platform (VAAP)」を中核とする AI プラットフォーム企業への進化を推進してまいります。

2. 市場環境の変化

AI 市場は現在、大きな転換点を迎えています。これまでの競争は、「より高性能な LLM を保有・開発すること」でした。しかし今後の競争は、「複数の AI モデルを企業業務へ最適に実装し、継続的に改善できる AI Agent Platform を構築できるか」へ移行していくものと考えています。

企業が求めるものは、AI モデルやチャットボットではなく、AI Agent、Voice Interface、Workflow、Knowledge、Enterprise Integration、Security、Analytics、Continuous Improvement、を統合した企業向け AI 基盤へ変化しています。

当社は、この変化が Voice AI 市場における新たな成長機会になると考えています。

3. VAAP とは

VAAP (Voice AI Agent Platform) は、企業が Voice AI Agent を迅速に構築・運用・改善・拡張するための統合プラットフォームです。

当社は、

- 音声認識
- 音声合成
- Voice LLM
- RAG
- Workflow
- Agent
- 外部システム連携

などを単一の共通基盤へ統合します。VAAP は個別製品ではなく、企業が Voice AI を継続的に活用するための「企業向け共通インフラ」として位置付けています。

4. マルチ LLM 戦略

当社は、特定の AI モデルに依存しないマルチ LLM 戦略を採用します。VAAP では、

- OpenAI
- Anthropic
- Google
- OSS LLM
- 今後登場する最新 AI モデル

を用途や要件に応じて柔軟に選択・組み合わせることが可能です。

これにより、新しい AI モデルが登場した場合でも迅速に取り込み、お客様へ最適な AI 環境を継続的に提供してまいります。

5. VAAP を構成する主要機能

VAAP は、

- Agent Studio
- Marketplace
- Prompt Management
- Knowledge Management
- Workflow Engine
- Multi LLM Orchestration
- Voice Interface
- Security
- Analytics
- Monitoring
- API Integration

を共通基盤として提供します。これにより、企業は短期間で Voice AI Agent を構築し、継続的に改善できる環境を実現します。

6. 既存製品との関係

当社が提供する、Voice Contact、Voice Digest、Terry2 シリーズ、FAST-D、ZMEETING などの既存製品は、今後 VAAP 上で提供される Voice AI Agent 群として位置付けます。各製品は個別ソリューションとして提供を継続するとともに、共通基盤を活用することで、AI モデルの更新、新機能追加、他サービスとの連携をより迅速に実現してまいります。

7. エコシステム戦略

当社は、VAAP を単独で提供するのではなく、多様なパートナーとともに成長するオープンなエコシステムを構築します。

今後は、SIer、ソフトウェアベンダー、AI スタートアップ、開発会社、業界特化企業、などが VAAP 上で Voice AI Agent を開発・提供・販売できる Marketplace を順次拡充してまいります。

これにより、多様な Agent が継続的に供給される成長循環を形成し、日本発の Voice AI Agent エコシステムの構築を目指します。

8. 収益モデルの進化

VAAP の展開により、当社は個別製品販売を中心とした事業モデルから、プラットフォームを中核とした継続収益型事業モデルへの進化を目指します。

プロダクト、ライセンス、保守・運用サービスに加え、Marketplace やパートナー連携などを組み合わせることで、収益機会の拡大と継続的な収益基盤の強化を図ります。

また、本業で創出したキャッシュを研究開発、AI Agent の拡充、戦略投資へ再投資することで、「利益創出 → 成長投資 → プラットフォーム拡大 → 継続収益拡大 → 利益創出」という持続的な成長サイクル（フライホイール）の構築を推進してまいります。

9. 今後の展開

当社は、VAAP を基盤として、

- 業種別 Voice AI Agent
- 業務別 Voice AI Agent
- Marketplace
- パートナーエコシステム
- Agent 開発基盤

を順次拡充してまいります。

また、技術提携、販売提携、共同開発、戦略投資などを通じてエコシステムを拡大し、VAAP の提供価値を継続的に高めてまいります。

10. 当社が目指す姿

AI 市場は、AI モデルの競争から AI Agent Platform の競争へ移行しています。

当社は、「音声認識製品を提供する企業」から、「Voice AI Agent Platform」を提供する AI プラットフォーム企業へ進化します。

Voice AI を起点とした Agent、Marketplace、パートナー、開発基盤を継続的に拡充し、日本発の Voice AI Agent Platform として企業の AI 活用を支える社会インフラとなることを目指します。

今後も、技術革新と事業基盤の強化を両輪として、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

当社は、本日開催の取締役会において、生成 AI・AI エージェント・音声 AI・Hm c o mm独自の AI Ops (Artificial Intelligence for IT Operations) 技術等を活用し、顧客業務の変革とシステム実装を一体で推進する次世代 AI 実装事業「FDE (Forward Deployed Engineer)」事業（以下、「本事業」）を開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本事業は、これまで当社が実施してきた 3 件の M&A（注 1～3）および事業基盤拡張により、開発・運用・AI 実装体制の統合が進み、事業開始に必要な基盤が整ったことを受け、本格始動するものであります。

（注 1）2025 年 2 月 28 日付「株式会社 IP パートナーズからの一部事業譲受に関するお知らせ」

（注 2）2025 年 8 月 15 日付「ファンタラクティブ株式会社の事業譲受に関するお知らせ」

（注 3）2026 年 5 月 11 日付「コロボテクノ株式会社の株式取得（子会社化）完了に関するお知らせ」

以 上